

オルメサルタン錠 40mg「ツルハラ」
生物学的同等性に関する資料

鶴原製薬株式会社

2017 年 11 月作成

オルメサルタン錠 40mg「ツルハラ」と標準製剤との血中濃度比較による検討

1. 緒言

オルメサルタン錠 40mg「ツルハラ」と標準製剤との生物学的同等性を検討するため、両製剤投与後の血漿中オルメサルタン（活性代謝物）濃度推移を比較した。

2. 実験方法

（1）使用薬剤

オルメサルタン錠 40mg「ツルハラ」

標準製剤

（2）対象

健康成人男子 20 名

（3）投与量

製剤試験により同等と認められた両製剤 1 錠を絶食時に水 150mL とともに単回経口投与

（4）投与方法

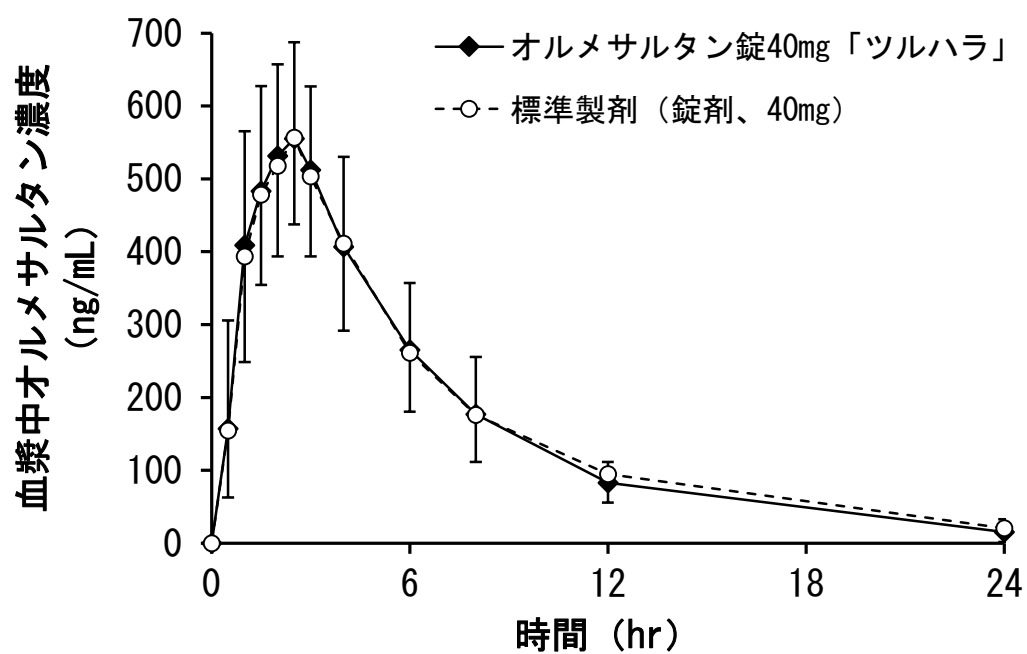
2 剤 2 期のクロスオーバー法にて絶食時に 1 錠を水 150mL とともに単回経口投与し、血漿中オルメサルタン（活性代謝物）濃度を経時的に測定した。休薬期間は 7 日間。

（5）採血時間

投与前、0.5 時間、1 時間、1.5 時間、2 時間、2.5 時間、3 時間、4 時間、6 時間、8 時間、12 時間、24 時間目

3. 結果

得られた薬物動態パラメータ（AUC、C_{max}）について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.8) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された



	AUC ₀₋₂₄ (ng・hr/mL)	C _{max} (ng/mL)	t _{max} (hr)	t _{1/2} (hr)
オルメサルタン錠 40mg「ツルハラ」	3877.9± 1104.1	593.7±101.9	2.3±0.5	4.7±1.7
標準製剤 (錠剤、40mg)	3976.4± 1055.4	592.4±102.4	2.4±0.5	5.1±1.3

mean±S.D. (n=19)